

私たちは文化財をととして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



公益財団法人滋賀県文化財保護協会
は設立 50 周年を迎えました

季刊

みる・きく・ふれる 文化財

おうみ文化財通信

vol. 54

Information of Cultural Heritage in OHMI

2023 Winter

【開催報告】

記録に残そう大作戦！〔大トンボと琵琶湖文化館〕

【展示案内】

滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展 滋賀県立安土城考古博物館第 67 回企画展
「琵琶湖文化館収蔵品にみる四季」

【展示案内】

滋賀県埋蔵文化財センター ロビー展示
「森と人」

【開催報告】

公益財団法人滋賀県文化財保護協会 設立 50 周年記念報告会

【開催報告】

「文化財保存活用地域計画」学習会を開催しました！

【お知らせ】

「近江文化財本舗」のご案内



【開催報告】

記録に残そう大作戦！ 〔大トンボと琵琶湖文化館〕



◆大津市打出浜にある滋賀県立琵琶湖文化館は、昭和 36 年（1961）に開館し、滋賀県の歴史や美術を総合的に紹介する県内初の公立博物館として、また水族館、植物園、プール、レストランなどを擁する総合レジャー施設として、多くの人々にぎわいました（平成 20 年 4 月より休館）。その屋根に設置された大トンボは、夜になると眼を光らせて回転し、灯台の役割も担っていたので、その印象が強く、愛称で「とんぼのお城」と呼ばれるなど、県民の皆さんに親しまれてきました。

◆開館以来、約 60 年にわたって湖上約 40m の高さから大津の街並みを見守ってきた大トンボですが、経年による劣化が著しく安全に支障をきたす恐れのあることから、屋

根および避雷針の改修工事に併せて令和 4 年 12 月以降に取り外すことになりました。

◆そこで琵琶湖文化館では、半世紀

以上にわたり文化館と共にあった大トンボの姿を、末永く記録に残そうと、令和 4 年 8/25 ～ 10/11 の間、「記録に残そう大作戦！〔大トンボと琵琶湖文化館〕」と題し、広く一般から写真の投稿を募りました。

滋賀県立琵琶湖文化館（現在休館中）

【詳しくは次のページへ】



大きなあ (藤原厚士)



大空に羽ばたくシンボル (レイカディア)



当時3才の記念写真 (橋本昭二)



冬の文化館と京阪電車 (谷本武弘)



どこへ行くの? (眞本尚二)



また会う日まで (トランザム)



冬の花火 (近隣住民A)



琵琶湖文化館と息子二人 (水谷千春)



晩秋から初冬へ (馬場孝行)



祝トンボのお城・開館 (清水三喜男)



日常の風景 (林 健一)



いつまでも (さゆり)



琵琶湖文化館の守り神 (k-t)

◆大トンボと琵琶湖文化館が写った写真には、それぞれの思いを込めたタイトルとコメントを添えて投稿していただきました。中には、家族で撮った思い出の写真や、開館当時の白黒写真まで、新旧を問わず県内外から 195 点もの写真が集まりました。さらにこのタイミングで、初代館長の故草野文雄氏の地元である長浜市の草野神社に、文化館を描いた絵馬が奉納されていることがわかり、無いと思われていた大トンボの設計図が館内から発見されるなど、奇跡としか言いようのない偶然が重なりました。

◆11 月に大津市内 2 会場で開催した「大トンボと琵琶湖文化館 写真パネル展ー記録がつむぐ思い出写真」では、皆さんから寄せられた投稿写真に加え、今回見つかった大トンボの設計図や、館が保管する記録写真、琵琶湖博物館や大津市歴史博物館のデジタルアーカイブに残る古写真などを一堂に展示し、皆さんの思い出とともにその歴史を振り返りました。

◆琵琶湖文化館のシンボルとして、一旦役目を終える大トンボですが、これらの記録が皆さんの良き思い出とともに記憶に残ることを願わずにはられません。

* 投稿された写真は、琵琶湖文化館のホームページでご覧いただくことができます。



文化館 HP



草野神社に奉納された絵馬



写真パネル展
(京阪びわこ浜大津駅ターミナルデッキにて)

「琵琶湖文化館収蔵品にみる四季」

◆滋賀県立琵琶湖文化館は、開館以来 60 年以上にわたる活動の中で、全国でも有数の質と量を誇る作品を収集してきました。現在は休館中ですが、県内の博物館施設等と連携し、収蔵品の展示公開の機会を設けています。今回は、安土城考古博物館を会場とした展覧会を開催します。琵琶湖文化館収蔵品の中から、近世絵画を中心に「作品に表現された季節の美しさ」に焦点を当てて紹介します。本展を通じて、作品に表現された日本と近江の豊かな四季を感じていただきます。



○近江八景図屏風(左隻) 吉田元陳筆



○秋草群鵠図 岡本秋暉筆

【開催期間】令和 5 年 2 月 4 日(土)～4 月 2 日(日)〈月曜休館〉
【開館時間】午前 9 時～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)
【入館料】大人 600 円、高大生 360 円、小中学生無料
※障害のある方および県内在住の 65 歳以上の方は無料
(ただし証明書の提示が必要)

＝企画展関連行事＝

令和 5 年 3 月 19 日(日) 13 時 30 分～15 時

座談会「新しい琵琶湖文化館と収蔵品を語る」

展覧会でお寄せいただいたメッセージを提示しながら
若手学芸員が語り合います。

登壇者：和澄浩介氏(滋賀県立琵琶湖文化館主任学芸員)
田澤 梓氏(滋賀県立琵琶湖文化館学芸員)
福西貴彦氏(滋賀県文化財保護課主査)
岩崎里水(滋賀県立安土城考古博物館学芸員)

会 場：滋賀県立安土城考古博物館セミナールーム

※往復はがきによる事前申込制(定員あり・申込先着順)

※詳細は安土城考古博物館 HP にてご確認ください。

【お問合せ】滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678

電話 0748-46-2424 FAX 0748-46-6140

URL: <https://www.azuchi-museum.or.jp/>



○新発見!! 琵琶湖文化館の大トンボ設計図も展示します!

★新しい文化館にメッセージを届けよう
現在、滋賀県では新しい琵琶湖文化館の開館に向けて準備を進めています。展覧会会場に特設ブースを設置しますので、皆さまの声を是非聞かせください!

◆投票◆

あなたが思う“新しい文化館でも見たい作品”はどれですか?

◆募集◆

新しい琵琶湖文化館での“展覧会へのご意見”をお知らせください。



○十二月図屏風(部分) 月岡雪鼎筆
(写真はいずれも滋賀県立琵琶湖文化館蔵)

やむをえず会期を変更する場合がございます。最新情報は当館ホームページでご確認ください。

ご入館の際はマスクを着用し、手指の消毒にご協力ください。発熱などカゼの諸症状のある方はご入館をお断りすることがあります。

「森と人」

◆縄文時代から奈良時代を中心に、森と人との関係の歴史をパネルや出土遺物等を使って紹介します。

【開催期間】令和 4 年 12 月 12 日(月)～令和 5 年 7 月 7 日(金)

【開館時間】午前 9 時～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

【休館日】土・日・祝日・年末年始(1/5(木)から開館)

【入館料】無料

【会 場】滋賀県埋蔵文化財センター 1 階ロビー(大津市瀬田南大萱町 1732-2)

【お問合せ】滋賀県埋蔵文化財センター

〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732-2

電話 077-548-9681 FAX 077-548-9682

mail: shigamabun-center@guitar.ocn.ne.jp

(平日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分)

●展示している主な遺物

縄文土器・石器・クリ(大津市栗津湖底遺跡)、木製鋤・鋤・竪杵(守山市赤野井浜遺跡)、軒丸瓦・軒平瓦(大津市近江国庁跡)、風字硯(大津市関津遺跡)、鉄滓・炉底塊・炉壁(大津市源内峠遺跡)、須恵器(草津市木瓜原遺跡)など

●会場・内容の詳細は滋賀県埋蔵文化財センター HP (<https://shiga-mc.sakura.ne.jp/>) まで

やむをえず、会期・内容を変更する場合がございます。最新情報はセンターホームページでご確認ください。

(写真提供: 滋賀県)

●本誌の掲載情報は令和 5 年 1 月 1 日現在の情報です。



センターHP



大津市栗津湖底遺跡 貝塚からは縄文人が食べた木の实(黒いもの)が大量に出土しました。

【開催報告】

公益財団法人滋賀県文化財保護協会 設立 50 周年記念報告会

◆私たち公益財団法人滋賀県文化財保護協会は、令和2年（2020年）に設立50周年を迎えました。その記念事業の一環として、昨年11/6（日）に滋賀県立美術館で「公益財団法人滋賀県文化財保護協会 設立50周年記念報告会」を開催しました。

◆当日は快晴の下、三日月大造滋賀県知事をはじめ、多くの方にご参加いただきました。基調講演として、大阪府立弥生文化博物館名誉館長・富山大学名誉教授の黒崎 直先生をお迎えし、「協会発足前夜の近江埋文事情（1959-1972年）」と題して協会設立前夜の滋賀県の文化財調査という貴重なお話をいただいたほか、当協会職員によってこの50年間の調査成果の中から選りすぐりの個別報告を4本お届けし、好評のうちに幕を閉じることができました。

◆また、当日は滋賀県埋蔵文化財センターで開催していた設立50周年記念事業展覧会「滋賀をてらした珠玉の逸品たち—スコープと歩んだ発掘50年史」で職員と学生アシスタントによるギャラリートークを開催し、こちらも多くの方にご来場いただきました。



黒崎 直先生の基調講演



ギャラリートークの様子

【開催報告】

「文化財保存活用地域計画」学習会を開催しました！

◆11/22 に近江八幡市で「文化財保存活用地域計画」学習会を開催しました。文化財保存活用地域計画（以下地域計画）の文化庁の認定を受けた市町、作成中の市町の担当者、文化財活用団体の方々が参加していただきました。

◆今回は、近江八幡市の伝統的建造物群保存地区を題材としました。午前中に市の担当者から地域計画の当該地域の取り扱いおよび抱える向け地域にどのようにアプローチしていくのかを中心に意見交換、討議しました。また、アドバイザーとして京都橘大学の村上裕道先生に参加いただき、他地域の事例等を紹介していただきながら進めました。

◆参加者の皆さんは、皆当事者であることもあり、具体的な熱の入った議論ができました。これからも県内の様々な地域を取り上げながら継続していく予定です。



【お知らせ】

「近江文化財本舗」のご案内



◆「ちょっと遠くて」、「都合が合わなくて」と行きたかった特別展を見られなかった方に朗報です。滋賀県立安土城考古博物館の図録や公益財団法人滋賀県文化財保護協会の研究紀要をオンラインで購入することができます。一度、覗いてみてください。
◆クレジット、コンビニ払い等ができますので、大変便利です。ぜひご利用ください。



「近江文化財本舗」

<https://shiga-bunkazai.com/>